

# 2016年第2四半期 決算及び会社説明資料

株式会社 土木管理総合試験所  
2016年8月23日

I. 2016年第2四半期決算説明	P 2
II. 今後の戦略	P 12
III. 会社概要	P 25

# I. 2016年第2四半期決算説明

(百万円)

	第2四半期 累計期間 (予想)	第2四半期 累計期間 (実績)	予想比 (%)	通期予想 進捗率 (%)
売上高	2,200	2,210	100.5	47.4
売上総利益 (売上総利益率)	670 (30.5%)	720 (32.6%)	107.5	47.4
販売費及び一般管理費 (売上販管費率)	537 (24.4%)	575 (26.0%)	107.1	53.1
営業利益 (営業利益率)	132 (6.0%)	145 (6.6%)	109.8	33.1
経常利益 (経常利益率)	133 (6.0%)	142 (6.4%)	106.8	33.8
四半期純利益 (四半期純利益率)	81 (3.7%)	76 (3.4%)	93.8	29.2
一株あたり 四半期純利益	12.73円	12.47円	98.0	-

- 売上高、売上総利益、販管費、営業利益、経常利益の予想比は達成。
- 通期予算進捗率は全体的に低くなっているものの、当社の業績は、季節変動の影響が大きいいため業績予想に変更なし。

## 試験総合サービス事業

(百万円)

	第2四半期 累計期間 (予想)	第2四半期 累計期間 (実績)	予想比 (%)	通期予想 進捗率 (%)
売上高	1,979	1,964	99.2	47.0
売上総利益	645	686	106.4	47.2

## 地盤補強サービス事業・その他事業

(百万円)

	第2四半期 累計期間 (予想)	第2四半期 累計期間 (実績)	予想比 (%)	通期予想 進捗率 (%)
売上高	192	213	110.9	50.2
売上総利益	18	26	144.4	57.8

## 貸借対照表

(百万円)

	2015.第2四半期	2016.第2四半期	前期比額
流動資産	1,210	2,119	909
固定資産	963	1,154	191
有形固定資産	838	991	153
無形固定資産	41	32	△9
投資その他の資産	83	130	47
<b>資産合計</b>	<b>2,174</b>	<b>3,274</b>	<b>1,100</b>
流動負債	702	686	△16
固定負債	326	276	△50
負債合計	1,029	963	△66
純資産合計	1,145	2,311	1,166
<b>負債純資産合計</b>	<b>2,174</b>	<b>3,274</b>	<b>1,100</b>
自己資本比率 (%)	52.7	70.6	+17.9p

## キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	2015.第2四半期累計	2016.第2四半期累計	差額
営業活動によるCF	266	358	92
投資活動によるCF	3	△24	△21
財務活動によるCF	△146	△86	△60
現金及び現金同等物の増減額	123	247	124
現金及び現金同等物の期末残高	374	992	618

1. ブランド力の向上により受注増となり売上高は2,210百万円（予想比100.5%）を達成。
2. フィールド&サポート型営業の展開強化により営業利益率が6.6%へ上昇（予想比+0.6p）
3. 物理探査業務の3Dレーダ探査ビジネスも黎明期から成長期へ移行。

土質・地質調査試験業務	地質調査が計画以上の受注。 人員体制の強化により受注量が増加。
環境調査試験業務	土壌汚染対策条例の制定により、厳格化。 指定機関の淘汰も当社に追い風。
非破壊調査試験業務	物理探査が予想比106.8%と増収。



連結業績予想に変更はありません。

(百万円)

	2015.12期 (実績)	2016.12期 (予想)	前期比額	前期比率 (%)
売上高	4,363	4,665	+302	106.9
売上総利益	1,483	1,520	+37	102.5
販売費及び一般管理費	1,046	1,082	+36	103.4
営業利益	437	438	+1	100.2
経常利益	418	420	+2	100.5
当期純利益	277	260	△17	93.9
1株当たり純利益	43.45円	42.27円	△1.18円	97.3
1株当たり配当金	9円	15円	+6円	166.7

- 2016年12月期減価償却費150百万円（前期比+22百万円）や人事制度の変更により人件費が増加するも営業利益は増益予想。
- 税負担増加により純利益は減益を予想。
- 平成28年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、平成27年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

## 環境部が草木ダム管理所長表彰を受賞

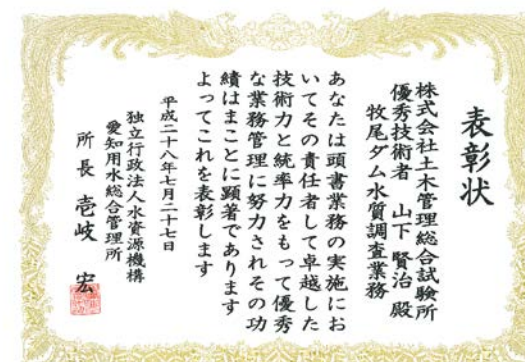
弊社が受注した「平成27年度 草木ダム河川水辺の国勢調査業務」において、業務の取組が評価され、平成28年7月21日「草木ダム管理所長表彰」（優良業務表彰・優秀技術者表彰）を頂きました。



コドラート調査状況

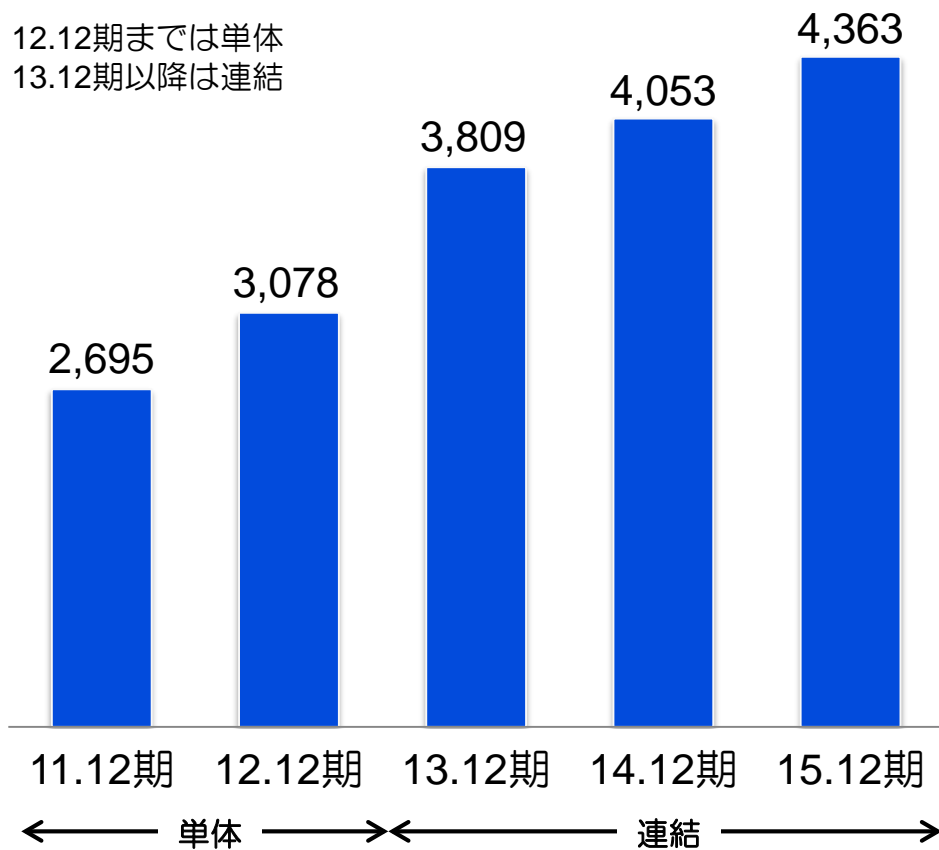
「河川水辺の国政調査」の一環として、草木ダム貯水池及びその周辺地域における底生動物及び動植物プランクトンの生息・生育状況の把握を目的として実施いたしました。

牧尾ダムでは  
2年連続表彰

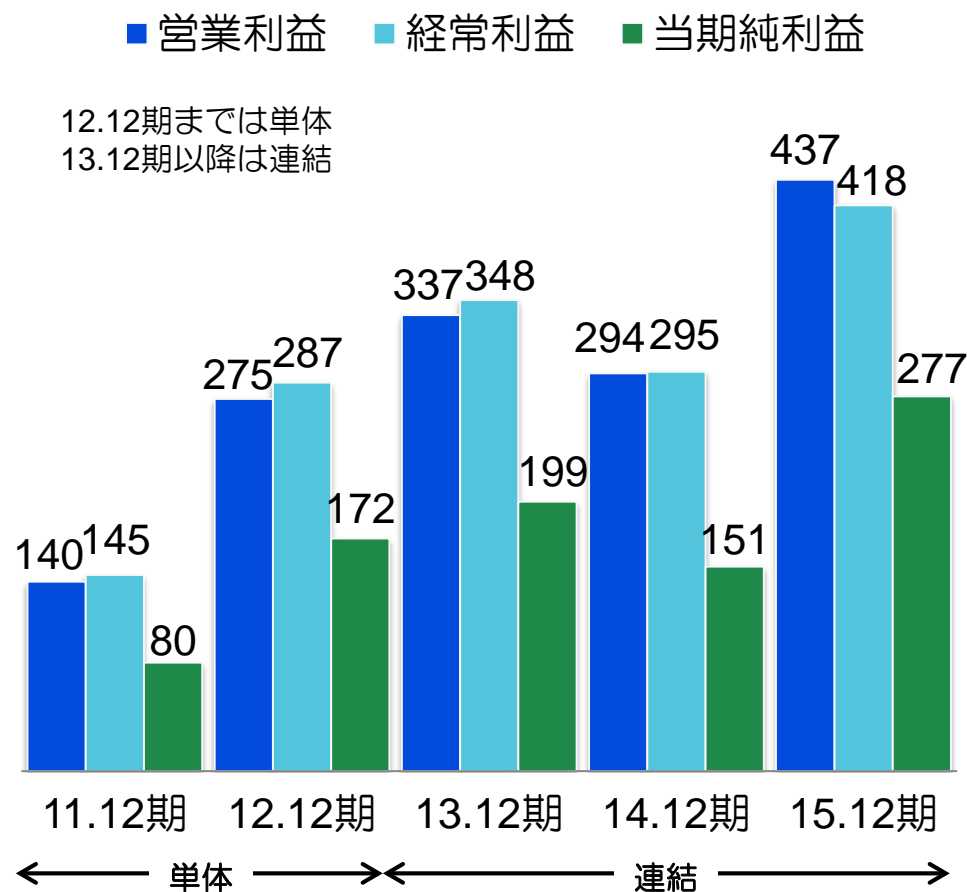


## 過去4期平均増収率は **12.8%**

売上高及び増収率の推移（単体、百万円）



利益の推移（百万円）



2016年12月期より中間配当を開始。

2016年12月期は大幅増配により配当性向 **35.5%** を予定 (円)

1株当たり配当金	2014.12期	2015.12期	2016.12期 (予想)	前期比額
中間(6月末)	0	0	7.5	+7.5
期末(12月末)	2.5	9	7.5	△1.5
合計	2.5	9	15	+6

(注) 表の数値につきましては、2016年4月1日付で1株につき2株の割合で分割しており、2014年12月期、2015年12月期の数値につきましても分割を考慮した数値を表示しております。

## 株主優待の開始

保有株式数(基準日時点)	優待内容
100株以上～500株未満	QUOカード 1,000円分
500株以上	QUOカード 2,000円分

(注) 12月末日現在の株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上の当社株式を保有されている株主様を対象にしています。

## Ⅱ. 今後の戦略

---

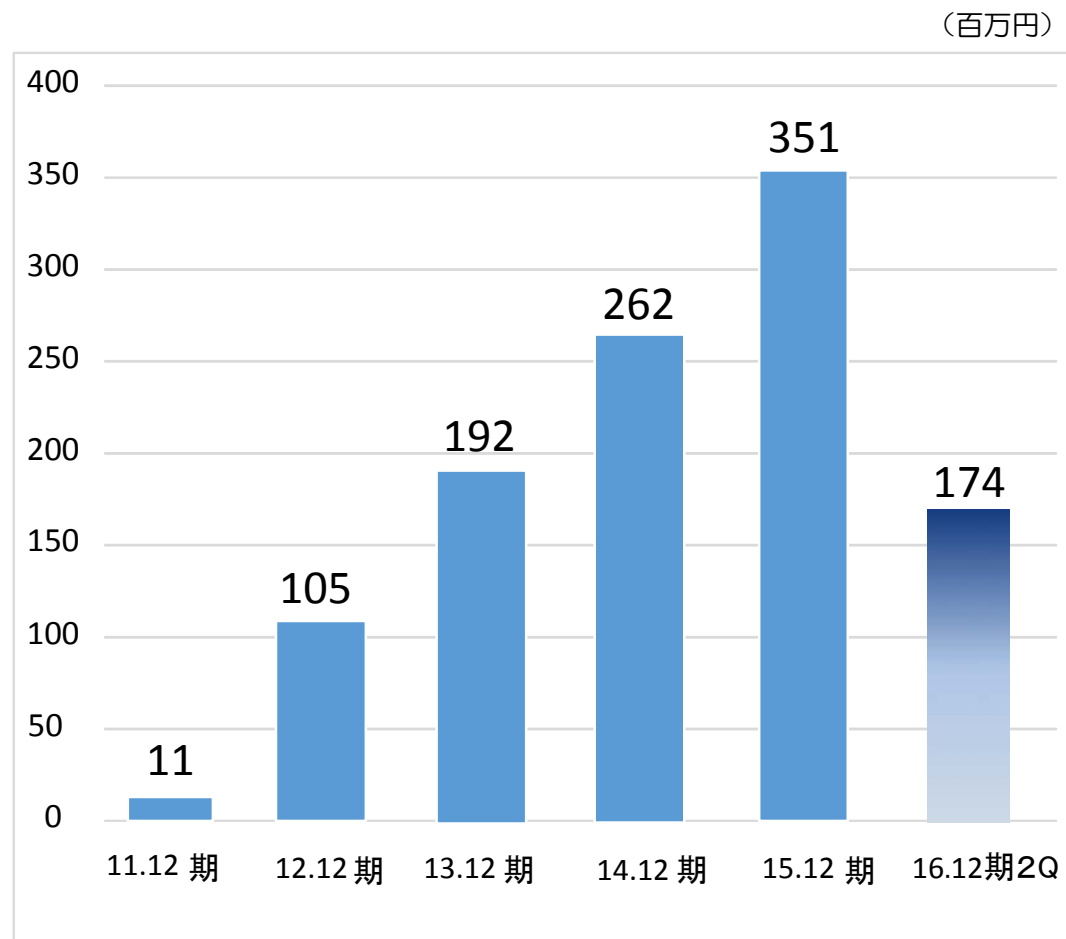
## 試験総合サービス

- 防災関連計測業務の拡大
- 老朽化、震災等によるインフラストック診断需要の拡大  
（3Dレーダ探査業務での差別化）
- 大規模プロジェクトへのワンストップサービスでの参入  
（複数調査の一括受注体制の強化）

## 市場

- 九州支店設置及び西日本試験センターの稼働による全国展開
- オリンピック、リニア新幹線、北陸新幹線延伸等への対応
- 試験・調査範囲を拡大するM&A
- 九州及び東北における震災復旧関連事業
- 海外展開

## 東北支店業績推移状況



2011年10月東北支店を開設、震災復興業務を中心に事業を展開、2014年4月には東日本試験センターを開設し、震災復興関連業務の受注がさらに拡大。現在では、本社に次ぐ営業拠点になりつつあります。

## 西日本試験センターを中心とした営業展開



- 山口支店・西日本試験センターを中心に、中国、四国、九州地方への展開。
- 既存の土質・地質調査試験を中心に、非破壊調査試験、環境調査試験にも対応し、中央試験センターと同規模（年間対応試料数30,000件）の試験センターを目指す。
- 南海トラフ地震に備えるための、液状化診断業務を推進中。

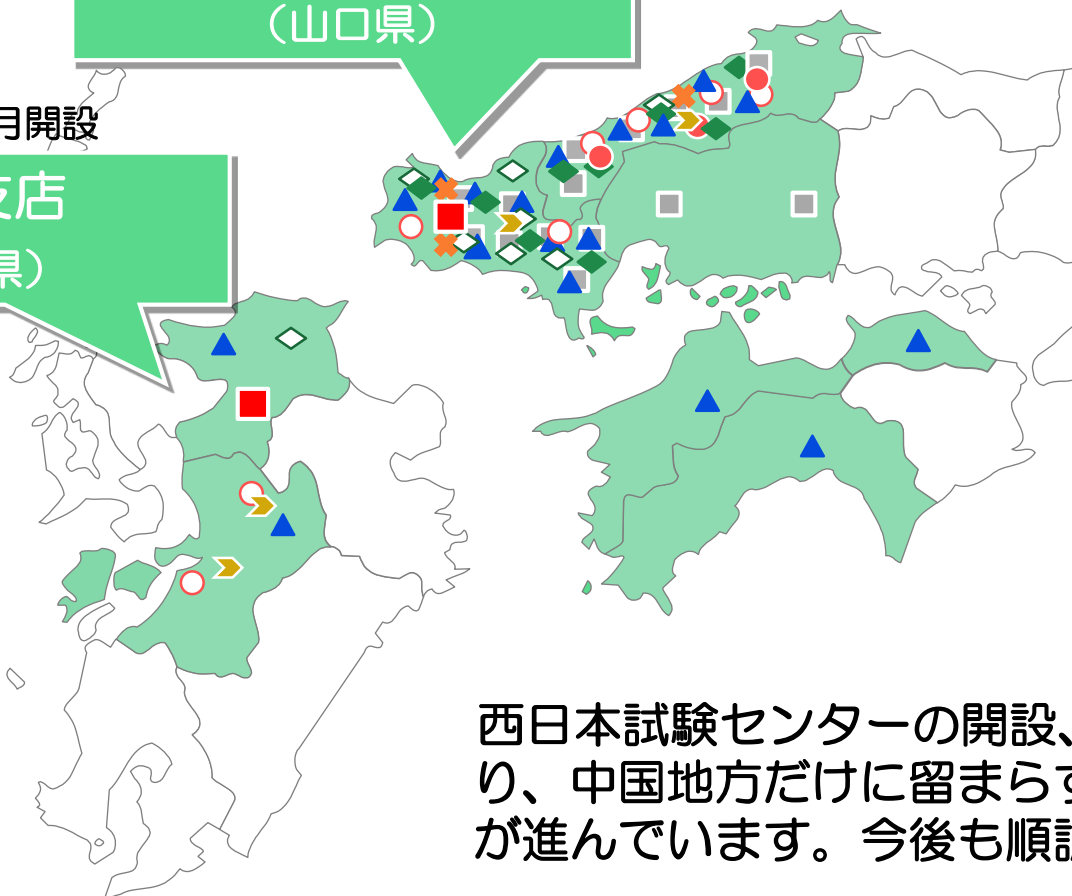


2016年3月稼働

山口支店  
西日本試験センター  
(山口県)

2016年6月開設

九州支店  
(福岡県)



2016年12月期上期受注件数

	試験種類	受注件数
■	現場試験	35
○	非破壊 (CO)	48
●	非破壊 (鉄)	11
▲	室内試験	97
✕	ボーリング	6
➤	物理探査	10
◇	環境調査	15
◆	環境分析	36

西日本試験センターの開設、及び九州支店の設置により、中国地方だけに留まらず九州、四国地方への展開が進んでいます。今後も順調な受注が期待されます。

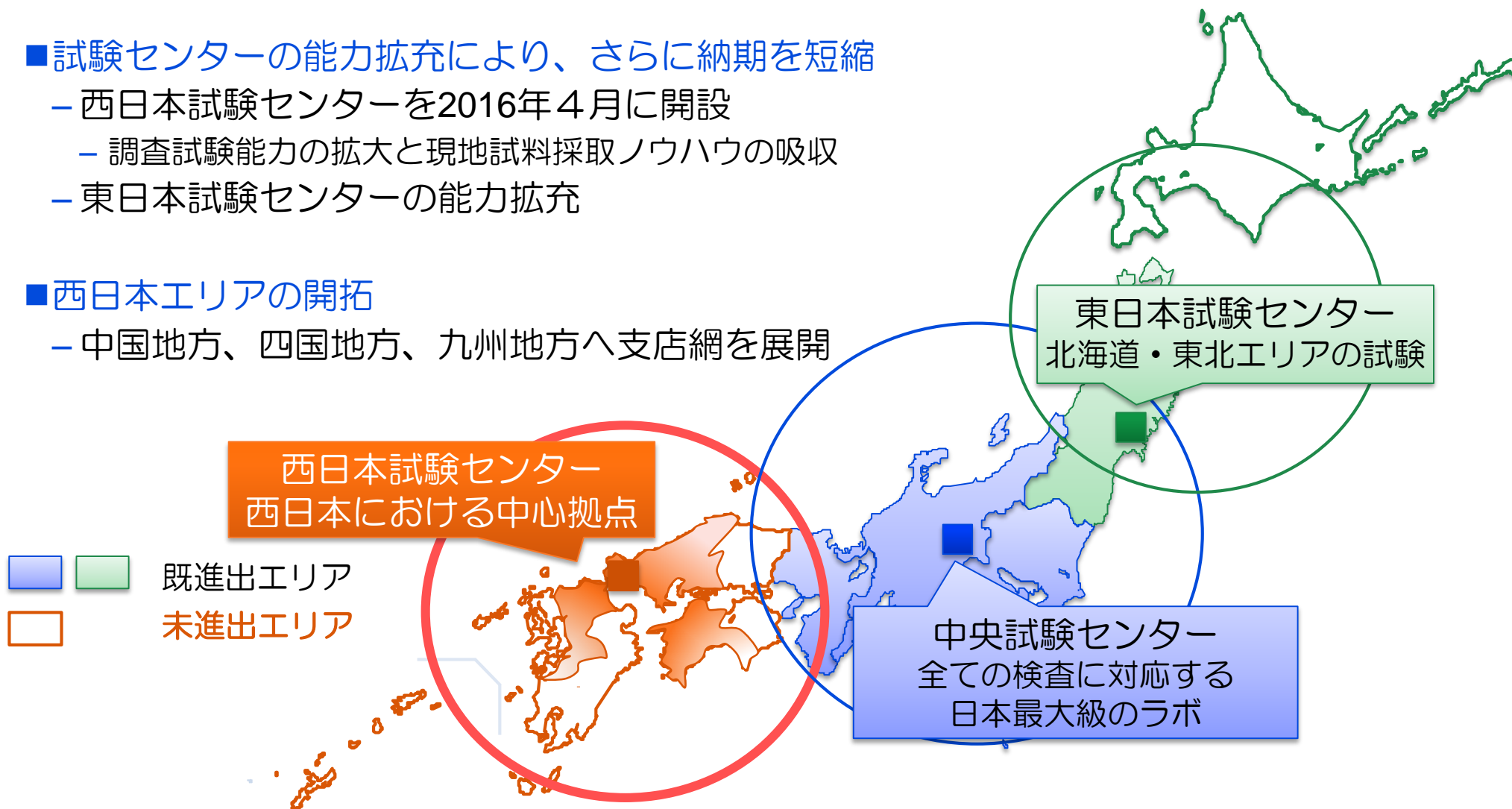
## 更なる受注拡大と、効率的な受注体制の確立

### ■試験センターの能力拡充により、さらに納期を短縮

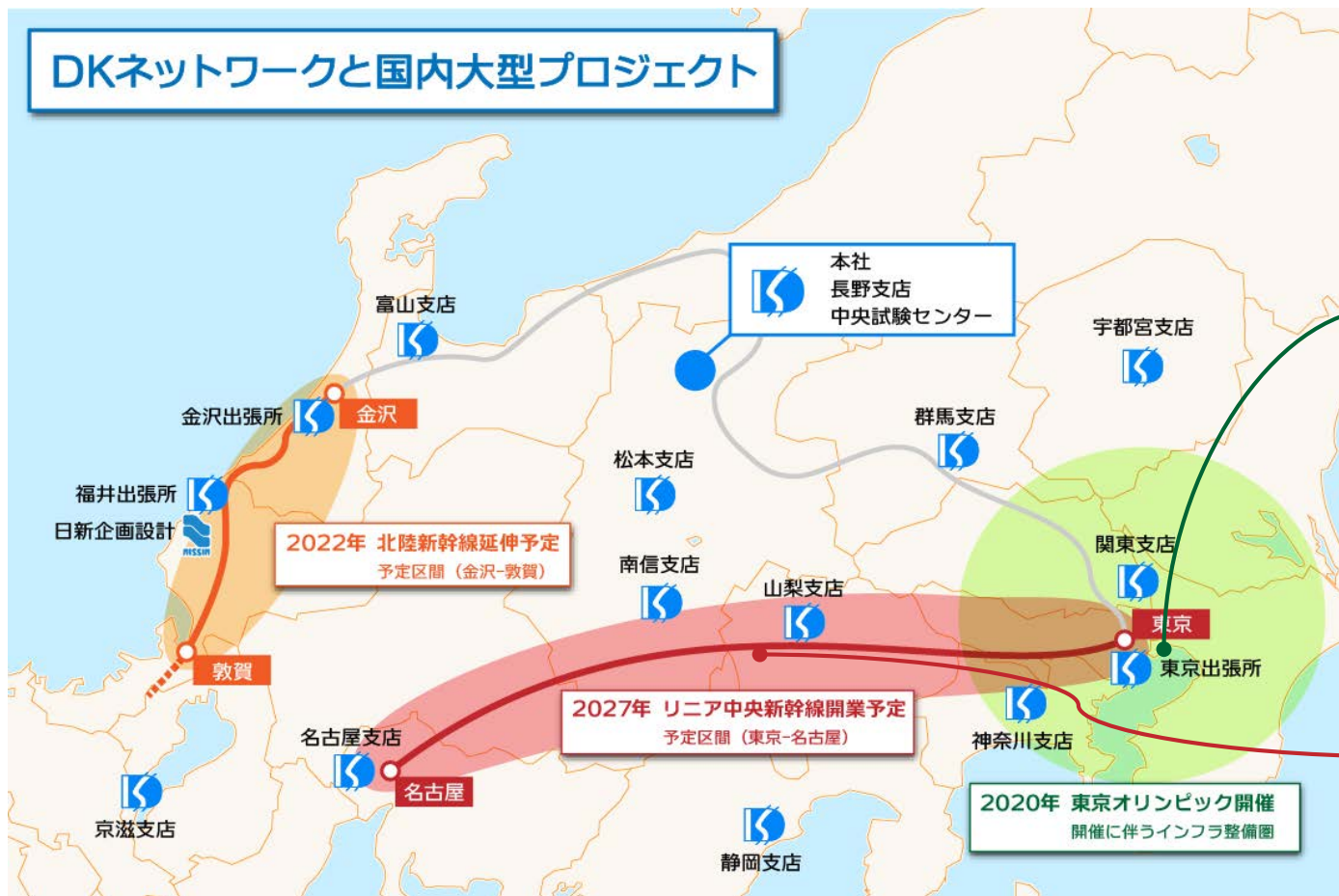
- 西日本試験センターを2016年4月に開設
- 調査試験能力の拡大と現地試料採取ノウハウの吸収
- 東日本試験センターの能力拡充

### ■西日本エリアの開拓

- 中国地方、四国地方、九州地方へ支店網を展開



## DKネットワークと国内大型プロジェクト



2016年7月受注

<東京オリンピック関連事業>  
13号地新客船ふ頭岸壁底質調査  
受注内容：新客船ふ頭岸壁における航路および泊地の底質調査

2016年8月受注

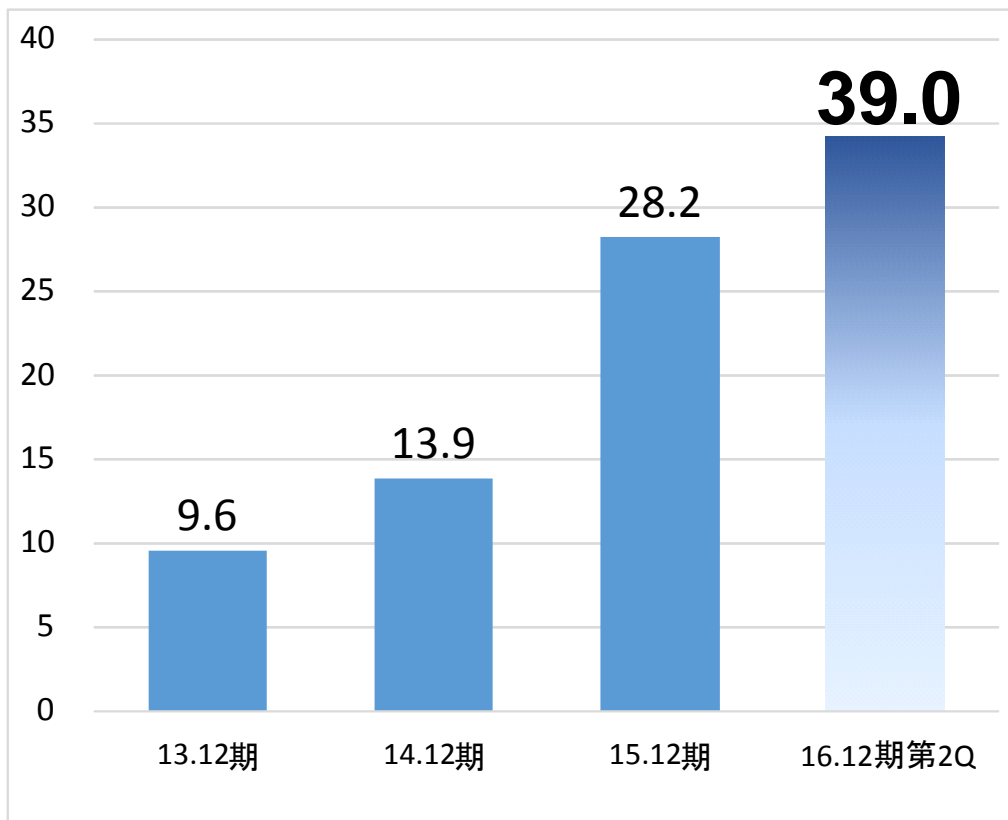
<リニア中央新幹線関連事業>  
南アルプストンネル山梨地区  
受注内容：地質調査

大型プロジェクトに合わせた拠点展開もしており、今後の更なる受注拡大が期待されます。

ロードスキャンビークル（高速移動型3Dレーダ探査車）による道路、橋梁、トンネルの3Dレーダ探査業務が急拡大。

### 3Dレーダ探査業務売上高推移

(百万円)



高速移動型3-Dレーダ探査車

NETIS登録番号 KK-130032-A

ロード  
スキャン  
ビークル

Road  
Scan  
Vehicle



### RSVの特徴

- 車線規制なしで診断が可能
- 高速走行（時速約80km）が可能

### 受注実績

- NEXCOエンジニアリング中国
- NEXCOエンジニアリング東北 等

ロード スキャン ビークル

## Road Scan Vehicle



「Road Scan Vehicle」は弊社の登録商標です

■システム構成



ロード・スキャン・ビークル外観

GPS: ネットワーク型GNSSサービス(JENOPA方式)により、精度の高い位置情報が得られます。

車載カメラ: 前方・左側・右側に設置。沿道状況を記録することで異常箇所の位置の特定に利用します。

3Dレーダ: 超広帯域特性によって高分解能と深い探査深度を両立した地中レーダです。

3Dレーダ探査システムを1台追加して2台体制とし、業務拡大に対応できる体制を確立しております。

## 軌道下空洞探査システム ※特許出願中

軌道下盛土内には伏び(通水管)があります。伏びの損傷は空洞を発生させ、路盤陥没を引き起こし、輸送障害の発生原因となります。軌道下空洞探査システムは、『安全』・『スピーディー』・『高精度』に空洞の早期発見・早期対策を可能にする技術で、輸送障害防止の新しい探査システムです。レールテックは鉄道保守の専門医として鉄道の安全を支えます。



特長

- ・多チャンネルで広い探査幅(2.1m)
- ・レーダをスライドさせての探査も可能
- ・探査画像はX、Y、Zの3次元で表示
- ・広帯域レーダで探査精度が向上



◀ 走行探査中にデータの取得状況が確認できます。



▲ 地下の状態判定には詳細な画像解析を行います。

◀ 探査区間が短い場合、手押しでも行えます。

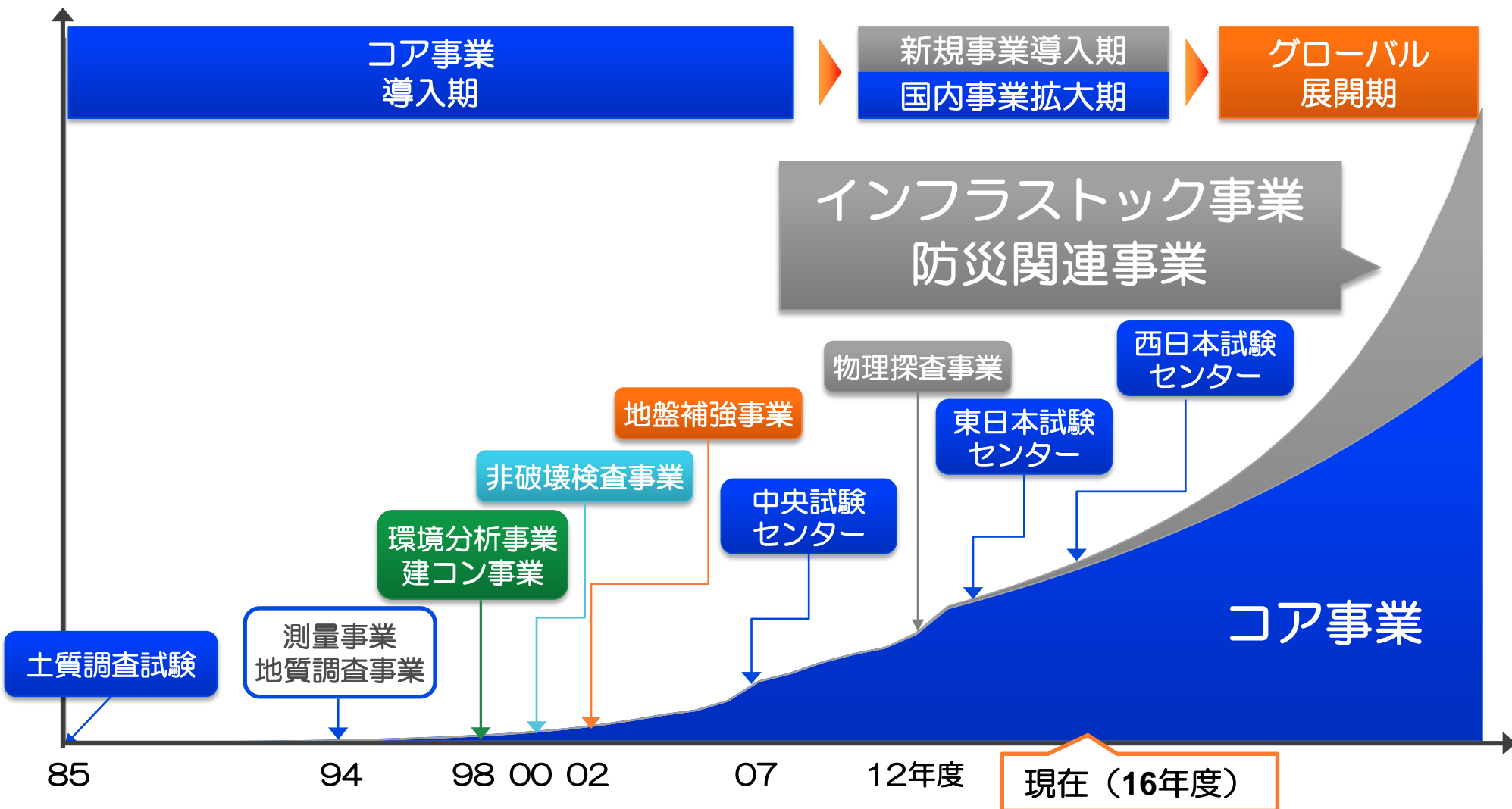
### 「安全」の追求には常に先手の対処が必要です

ロードスキャンビークル（高速移動型3Dレーダ探査車）を鉄道軌道に応用しました。自動走行による探査（時速約30km）が可能です。2016年1月より受注開始。JR西日本等にて試験走行を実施しております。

（百万円）

	2015年12月期 実績	2018年12月期 目標	対2015年12月期 比較
連結売上高	4,363	5,627	+28%
連結営業利益	437	551	+26%
当期利益	277	355	+28%

事業規模



## 2016年12月期業績予想の前提条件

当社グループの売上予想は、各エリアの前期比実績や業界動向を勘案し、各エリアにおける人員構成を踏まえて、各エリアにて売上計画を積上げて立案しております。

2016年12月期は、西日本試験センター開設による西日本での営業エリアの拡大、大型プロジェクト（東京オリンピック、リニア新幹線、北陸新幹線延伸等）、インフラストックの維持管理業務といった需要を取込むべく、昨年と同様の人員増を見込んでおります。人員増加による増収額300百万円（増加人員30名、増加従業員1人当たり売上高10百万円/人）を見込み、2016年12月期については、売上高4,665百万円を見込んでおります。



## 2016年12月期業績予想の前提条件 セグメント別

### ①試験総合サービス事業

土質・地質調査試験、非破壊調査試験、環境調査試験の受注増を見込み、本セグメントにて前期比30名の増員を計画しております。エリア毎の計画については、関東地方では東京オリンピック関連事業、圏央道建設事業等の大型案件の取り込み、北陸地方では北陸新幹線延伸案件の取り込み、東北地方では引き続き震災復興需要を取り込み、関東地方から東海地方では、リニア新幹線事業の取り込みを進め、さらに西日本試験センターの稼働により、西日本での営業エリア拡大による新規顧客の獲得を実現するために、各エリアにて増員を行います。

結果、土質・地質調査試験2,781百万円（対前期比107.2%）、非破壊調査試験887百万円（対前期比116.8%）、環境調査試験508百万円（対前期比105.0%）、セグメント売上高4,176百万円を見込んでおります。

### ②地盤補強サービス事業

地盤補強工事は、調査、設計、工事のワンストップ化の充実を図り、受注の拡大と取引金額の増加を目指し、防災システム分野の推進強化及び中規模建築物の受注を進めていきます。また今期は増員を予定しておりません。

結果、セグメント売上高は、489百万円（前期比104.2%）を見込んでおります。

## Ⅲ. 会社概要

---

▶▶ 自社**ラボ**※を有し、社会インフラ整備に係る多様な調査・試験を  
ワンストップで提供

※試験センターのこと。当社は3試験センターを有する。

▶▶ **フィールド&サポート型**※営業のビジネスモデルによる差別化、  
高付加価値サービスで成長

※フィールドとは現場のこと。当社はフィールドにて顧客が抱える課題を聞き取り、顧客がどのような調査・試験を実施すべきかについて支援（サポート）するフィールド&サポート型の提案営業により他社と差別化を図る。

▶▶ インフラ長寿命化と防災で、安心安全な社会生活に貢献し、  
持続的に高い成長を目指す

▶▶ 西日本への進出と東日本の強化により、全国に営業エリアを拡大し、  
国内での地歩を固めグローバル展開への礎とする

商号	株式会社土木管理総合試験所（6171） C.E.Management Integrated Laboratory Co.Ltd
本社	長野県長野市篠ノ井御幣川877-1
事業所	29ヶ所（本社、支店、6出張所、3試験センター）
グループ会社	株式会社 日新企画設計
資本金	5億7,096万7,500円
従業員数	405名（2016年6月30日現在）
創業	1985年5月
設立	1985年10月
事業内容	試験総合サービス事業：土質・地質調査試験、非破壊調査試験、環境調査試験 地盤補強サービス事業：地盤補強工事 その他事業：試験機器販売

## 関東・甲信越地方を中心に展開

- 本社・支店 (20拠点)
- 出張所 (6拠点)
- 試験センター (3拠点)

### 甲信越

- 本社・長野支店
- 松本支店 新潟支店
- 南信支店 山梨支店
- 上越支店
- 中央試験センター

### 北陸

- 富山支店
- 福井出張所
- 金沢出張所

### 西日本

- 山口支店 九州支店
- 島根出張所
- 西日本試験センター

### 東北

- 東北支店
- 秋田支店
- 東日本試験センター

### 関東

- 関東支店 群馬支店
- 宇都宮支店 神奈川支店
- 東京出張所

### 東海

- 名古屋支店
- 静岡支店
- 岐阜出張所

### 関西

- 大阪支店 京滋支店
- 和歌山出張所



# 自社ラボにて多様な試験を実施

理学系	化学系	工学系
-----	-----	-----

土質試験	環境試験 (分析)	鋼・コンクリート試験
------	-----------	------------

<p><b>土質試験</b></p> <p>土粒子の密度試験 土の含水比試験 土の粒度試験 土の細粒分含有率試験 石分を含む地盤材料の粒度試験 土の液性限界・塑性限界試験 砂の最少密度・最大密度試験 土の湿潤密度試験 (ノギス法) 土の湿潤密度試験 (ハラフィン法) 土懸濁液pH試験 土の強熱減量試験 土の有機炭素含有量試験 突固めによる土の締め試験 締め固めた土のコーン指数試験 CBR試験 土の透水試験(浸水) 土の透水試験(定水) 土の一軸圧縮試験 土の非排水・非排水 (UU) 三軸圧縮試験 土の圧密・非排水 (CU) 三軸圧縮試験 土の圧密・非排水 (OU) 三軸圧縮試験 土の圧密・排水 (CD) 三軸圧縮試験 土の段階載荷による圧密試験 土の圧密試験(定ひずみ速度載荷) 繰返し非排水三軸試験 (液状化特性) 地盤材料の変形特性を求めるための繰返し三軸試験 骨材のふるい分け試験 骨材の微粒分量試験 骨材の単位容積質量及び実積率試験 骨材の有機不純物試験</p>	<p><b>環境試験 (分析)</b></p> <p>【環境省告示第46号改良土六価クロム】 六価クロム溶出量試験(改良土) 六価クロム溶出量試験(再生材) タンクリーチング試験 【土壌分析】 アルキル水銀 溶出 縮水銀 溶出 カドミウム 溶出 鉛 溶出 有機りん 溶出 六価クロム 溶出 ひ素 溶出 シアン 溶出 バリウム 溶出 クロム 溶出 マンガン 溶出 ニッケル 溶出 バナジウム 溶出 PCB(ポリ塩化ビフェニル) 溶出 銅 溶出 亜鉛 溶出 ほう素 溶出 ふっ素 溶出 チウラム 溶出 シマジン 溶出 チオベンカルブ 溶出 セレン 溶出 ダイオキシソ 溶出 トリクロロエチレン 溶出 テトラクロロエチレン 溶出</p> <p>マンガン 含有 ニッケル 含有 バナジウム 含有 PCB(ポリ塩化ビフェニル) 含有 銅 含有 亜鉛 含有 ほう素 含有 ふっ素 含有 チウラム 含有 シマジン 含有 チオベンカルブ 含有 セレン 含有 農用地含有量試験 カドミウム 農用地含有量試験 銅 農用地含有量試験 ヒ素 農用地含有量試験 亜鉛 土壌汚染判定 (土壌汚染環境分析) Redox電位 (土壌汚染環境分析) PCB(ポリ塩化ビフェニル) 含有 銅 含有 亜鉛 含有 ほう素 含有 ふっ素 含有 チウラム 含有 シマジン 含有 チオベンカルブ 含有 セレン 含有 ダイオキシソ 含有 トリクロロエチレン 含有 テトラクロロエチレン 含有</p> <p>シマジン チオベンカルブ セレン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 四塩化炭素 ジクロロメタン 1,2-ジクロロエタン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン ベンゼン 水素イオン濃度 (pH) 生物化学的酸素要求量 (BOD) 溶解性BOD 化学的酸素要求量 (COD) 溶解性COD 浮遊物質 (SS) フルマルヘキサノ抽出物質含有量 (鉱油)</p> <p>酸度 全硬度 マグネシウム シアン化イオン 硫酸イオン 硝酸イオン けい酸 カルシウム ナトリウム カリウム クロロフィ 色度 濁度 チリ 揮発性無機炭素 (VOC) 有機炭素 (TOC) 有機酸 臭気 味 外観 水温 鉄 銅 マンガン 亜鉛 ニッケル バリウム 鉛 セレン チウラム トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 有機りん 六価クロム 五価クロム TPH (重量法) TPH (CFC-FID法) pH (溶出液) 含有あり</p>	<p><b>鋼・コンクリート試験</b></p> <p>コンクリートの曲げ強度試験 コンクリートからのコアの採取及び圧縮強度試験 コンクリートの圧縮強度試験 コンクリートの割れ引張試験 コンクリートの中性化試験 コンクリート中の中性化深さの測定 コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験 (電位差測定法) コンクリート中の硫酸根イオンの試験 (電位差測定法) セメント凝結時間の差 モルタルの圧縮強さの比 アルカリ骨材反応を生じたコンクリート構造物のコア試料による膨張率の測定 鋼のマクロ組織試験 (硝酸エタノール法)</p>
---	--	--

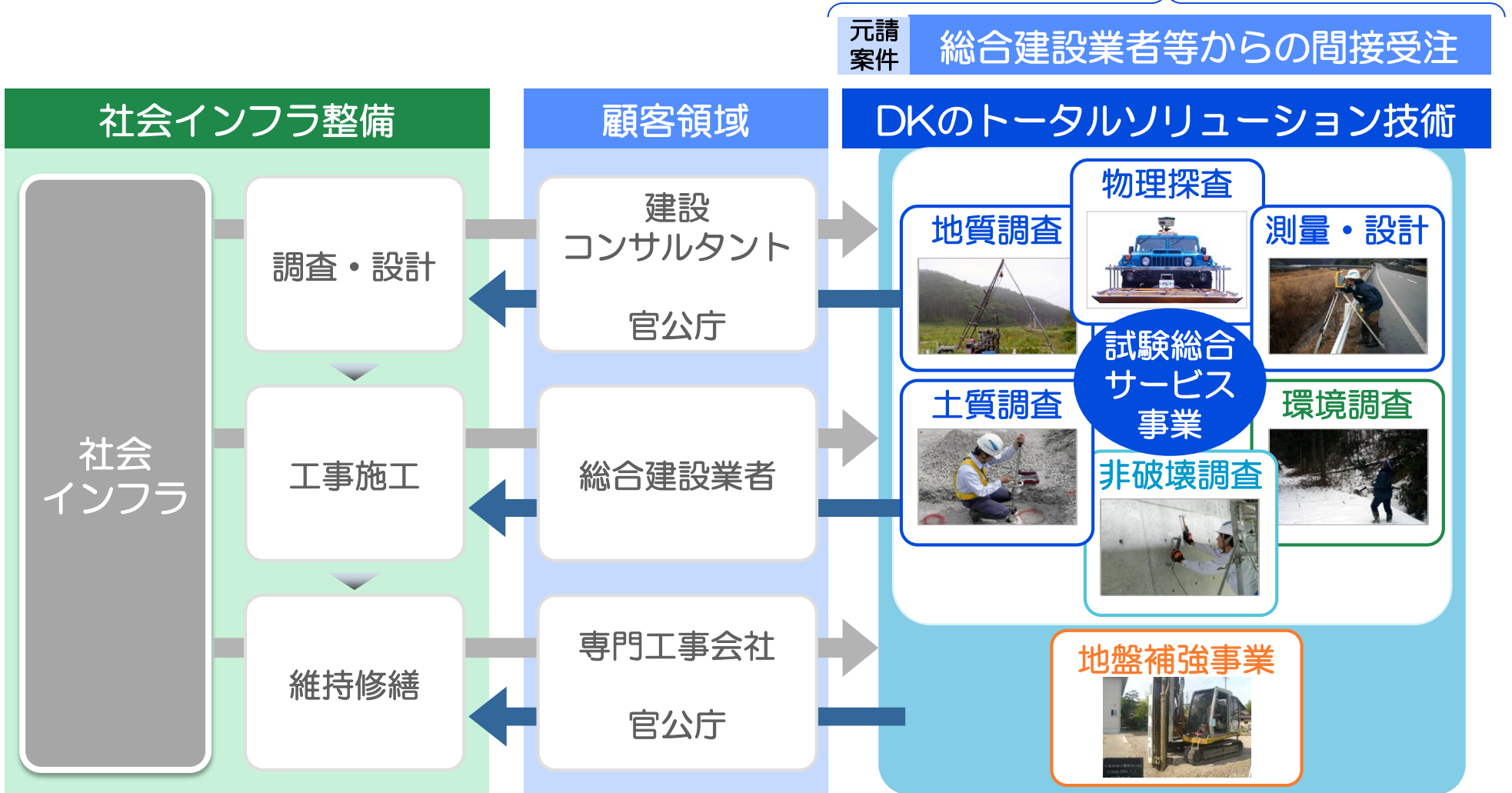
**西日本試験センター (山口県)**

**中央試験センター (長野県)**

**東日本試験センター (宮城県)**

<p>構造用軽量コンクリート骨材の塩化物試験 岩石の含水比試験 岩石の密度試験(ノギス法) 岩石の密度試験(浮力法) 岩石の密度・含水比・有効間隙率試験 ハルス透過法による岩石の超音波速度測定 岩石の圧縮強さ試験 岩石の一軸圧縮試験 圧裂による岩石の引張り強さ試験 礫の積比重及び吸水率試験 岩の破碎率試験 岩のスレーキング率試験 岩の乾湿繰返し吸水率試験 岩石の浸水崩壊試験 点載荷試験機を用いた岩石の点載試験 岩石の点載荷試験方法 岩石の安定性試験</p>	<p>鉛 含有 有機りん 含有 六価クロム 含有 七価クロム 含有 シアン 含有 四塩化炭素 含有 1,2-ジクロロエタン 含有 1,1-ジクロロエタン 含有 シス-1,2-ジクロロエタン 含有 1,3-ジクロロプロペン 含有 ジクロロメタン 含有 トリクロロエチレン 含有 テトラクロロエチレン 含有 トリクロロエチレン 含有 土壌ガス ベンゼン 土壌ガス トリクロロエチレン 含有 クロム 含有</p> <p>縮水銀 含有 アルキル水銀 含有 PCB(ポリ塩化ビフェニル) 含有 ほう素 含有 ふっ素 含有 トリクロロエチレン 含有 土壌ガス ベンゼン 土壌ガス トリクロロエチレン 含有 クロム 含有</p> <p>マンガン 含有 ニッケル 含有 バナジウム 含有 PCB(ポリ塩化ビフェニル) 含有 銅 含有 亜鉛 含有 ほう素 含有 ふっ素 含有 チウラム 含有 シマジン 含有 チオベンカルブ 含有 セレン 含有 農用地含有量試験 カドミウム 農用地含有量試験 銅 農用地含有量試験 ヒ素 農用地含有量試験 亜鉛 土壌汚染判定 (土壌汚染環境分析) Redox電位 (土壌汚染環境分析) PCB(ポリ塩化ビフェニル) 含有 銅 含有 亜鉛 含有 ほう素 含有 ふっ素 含有 チウラム 含有 シマジン 含有 チオベンカルブ 含有 セレン 含有 ダイオキシソ 含有 トリクロロエチレン 含有 テトラクロロエチレン 含有</p> <p>シマジン チオベンカルブ セレン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 四塩化炭素 ジクロロメタン 1,2-ジクロロエタン 1,1,1-トリクロロエタン 1,1,2-トリクロロエタン 1,1-ジクロロエチレン シス-1,2-ジクロロエチレン 1,3-ジクロロプロペン ベンゼン 水素イオン濃度 (pH) 生物化学的酸素要求量 (BOD) 溶解性BOD 化学的酸素要求量 (COD) 溶解性COD 浮遊物質 (SS) フルマルヘキサノ抽出物質含有量 (鉱油)</p> <p>酸度 全硬度 マグネシウム シアン化イオン 硫酸イオン 硝酸イオン けい酸 カルシウム ナトリウム カリウム クロロフィ 色度 濁度 チリ 揮発性無機炭素 (VOC) 有機炭素 (TOC) 有機酸 臭気 味 外観 水温 鉄 銅 マンガン 亜鉛 ニッケル バリウム 鉛 セレン チウラム トリクロロエチレン テトラクロロエチレン 有機りん 六価クロム 五価クロム TPH (重量法) TPH (CFC-FID法) pH (溶出液) 含有あり</p>	<p>鋼のマクロ組織試験 (硝酸エタノール法) コンクリートの曲げ強度試験 コンクリートからのコアの採取及び圧縮強度試験 コンクリートの圧縮強度試験 コンクリートの割れ引張試験 コンクリートの中性化試験 コンクリート中の中性化深さの測定 コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験 (電位差測定法) コンクリート中の硫酸根イオンの試験 (電位差測定法) セメント凝結時間の差 モルタルの圧縮強さの比 アルカリ骨材反応を生じたコンクリート構造物のコア試料による膨張率の測定 鋼のマクロ組織試験 (硝酸エタノール法)</p>
--	--	--

## 社会インフラ整備の現場での調査 受注先内訳



3試験センター体制確立で全国に営業展開

東日本試験センター（仙台市）、中央試験センター（長野県）

西日本試験センター（山口県）

東京オリンピック、リニア新幹線、

北陸新幹線延伸等大型プロジェクト事業で受注活動を推進

インフラストック診断業務受注を拡大

特に最先端技術である3Dレーダ探査車による診断業務で差別化

株主還元を重視、2016年12月期より中間配当を開始

大幅増配により配当性向35.5%を予定

2018年12月期で連結売上高56億円、連結営業利益5.5億円を目指す



## ■ 【ご注意事項】

本資料に記述されている当社の業績予想、将来予測などは、当社が作成時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の国内及び海外の経済情勢、内外の状況変化や様々な外部要因・内部要因の変化により、実際の業績、成果はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

## 【お問合せ先】

株式会社土木管理総合試験所 管理部

TEL : 026-293-5677 / FAX : 026-293-6431

E-mail : [sikenjyo@dksiken.co.jp](mailto:sikenjyo@dksiken.co.jp)

〒388-8006

長野県長野市篠ノ井御幣川877-1